

浜松市 働き方改革 事例

1	事業名	小中学校等連絡アプリ「さくら連絡網」の運用
	概要	児童生徒の保護者及び学校教職員等をつなぐ連絡手段として小中学校等連絡アプリ「さくら連絡網」を導入し、災害時等における休校情報や緊急連絡のほか、児童生徒の出欠連絡、保護者へのアンケート等に活用している。
	実績・効果	<p>実績：災害時や緊急時における情報伝達に加え、児童生徒の欠席連絡、学校からの通知（学校だより、参観会のお知らせ等）、保護者へのアンケート、毎朝の健康チェック等に活用</p> <p>効果：災害時や緊急時における円滑な連絡手段が確立したほか、児童生徒の欠席連絡や保護者アンケート等の事務もシステム化したことで、教職員の負担軽減につながっている。</p>
2	事業名	学校給食費管理事業
	概要	<p>学校給食費の徴収及び管理に公会計制度を導入し、児童生徒等の食数管理から給食費の算定、徴収及び債権管理に至るまでの一連の事務を、教育委員会が一括して行っている。</p> <p>※学校給食費の公会計制度導入に伴い、学校徴収金（学年費）の徴収事務についても、各学校が共通して行う業務（主に口座振替に関する業務）を、教育委員会が一括処理している。</p>
	実績・効果	<p>実績：学校給食費徴収管理システムを導入し、児童生徒及び保護者の基本情報（口座情報を含む。）を管理するとともに、適正な徴収管理事務を実施</p> <p>効果：公会計制度の導入に伴う食材費の予算措置により、保護者からの給食費の徴収状況に影響されることなく計画的に食材調達が行えるようになり、安定的な給食提供が図られている。これまで学校が行っていた給食費の徴収、会計処理、未納対応等を教育委員会が直接行うことで、教職員の負担軽減につながっている。</p>
3	事業名	小中学校スポーツ施設利用スマート化事業
	概要	地域スポーツの活動拠点として、地域の利用団体に対して小中学校のスポーツ施設を開放している。利便性を向上し、更なる施設利用を拡大するため、小中学校の体育館やグラウンドなどのスポーツ施設の利用について、予約から利用料金の支払いまでの手続きをスマート化している。
	実績・効果	<p>実績：令和5年度末までに、市内の小中学校140校においてスマート化に要する機器を設置。スマート化移行を完了した。</p> <p>効果：施設利用の仕組みを共通化することで、利便性の向上及び小中学校スポーツ施設利用の拡大が図られている。各学校の施設利用委員会の事務（利用申請書類等の取りまとめ、利用団体への体育館等の鍵の受渡し、施設利用料の徴収など）を担っていた教職員の負担軽減が図られている。</p>